

「観光関連事業者景況調査（2025年10～12月）」集計速報

調査概要

本調査は、静岡県中部5市2町の観光関連事業者の中から抽出した305事業所に対して2026年1月7日付で調査票を送付し、郵送またはWebで136先から回答（回答率44.6%）を得た。表内の数字は指数（STI[※]）で示しており、最大+50、最小▼50で、基準時点と比べた景況感を示している。

※…STI (Suruga Tourism business Index) 静岡県中部5市2町の観光関連ビジネスの景況感を示す指数。設問に対して5択（「良い」+50、「やや良い」+25、「普通」±0、「やや悪い」-25、「悪い」-50）で回答してもらい、回答を点数化して合計し、有効回答数で除した値。全員が「良い」と回答すれば指数は最大値の+50となり、全員が「悪い」と回答すれば指数は最小値の-50となる。結果がプラスの場合には基準時点よりも景況感が『改善』、マイナスになれば基準時点よりも景況感が『悪化』したことを示す。

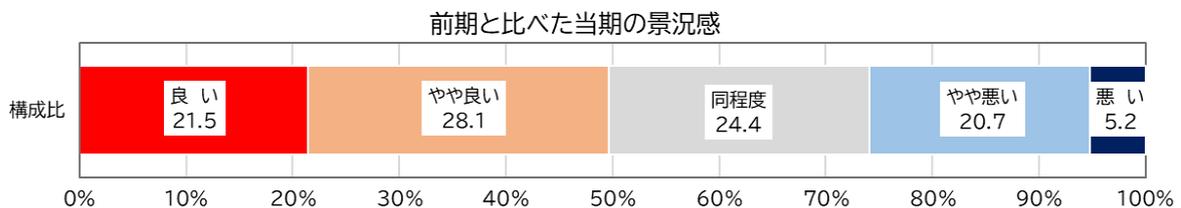
1. 当期（10～12月）の景況感

（1）前期（7～9月）と比べた景況感

- （全体）10～12月の景況感は+10.0と、秋の行楽シーズンを迎え、前期にみられた台風や猛暑など天候の下押し要因がなかったことや、年末のイベント増加などを背景に2ケタプラスとなった
- （業態）すべての業態でプラスとなり、とくに宿泊、飲食店、土産・小売は2ケタプラス
- （地域）4市町がプラス、うち3市町が2ケタプラスだった一方、3市がマイナスとなった

◆前期と比べた当期の景況感（STI）

10～12月 （前期比）	業態別	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通		
		+ 3.4	+ 14.9	+ 11.3	+ 14.1	+ 9.6		
+ 10.0	地域別	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
		+ 14.1	+ 9.2	+ 20.2	▼ 9.1	▼ 8.3	▼ 8.3	+ 14.3



（2）前期と比べた当期の業績（STI）

業態別	全業態	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通
売上高	+ 10.2	+ 5.2	+ 14.6	+ 7.5	+ 14.1	+ 11.5
来客数	+ 5.6	+ 1.2	+ 10.7	+ 8.8	+ 3.1	+ 1.9
客単価	+ 9.8	+ 2.9	+ 18.3	+ 2.5	+ 9.4	+ 17.3
コスト	+ 16.4	+ 9.9	+ 22.0	+ 22.5	+ 10.9	+ 17.3
利益	+ 1.1	▼ 2.3	+ 6.1	+ 1.3	▼ 1.6	± 0.0

(3) 当期の景況感に影響を与えた要因

当期の景況感にプラスの影響を与えた要因 (%)



当期の景況感にマイナスの影響を与えた要因 (%)



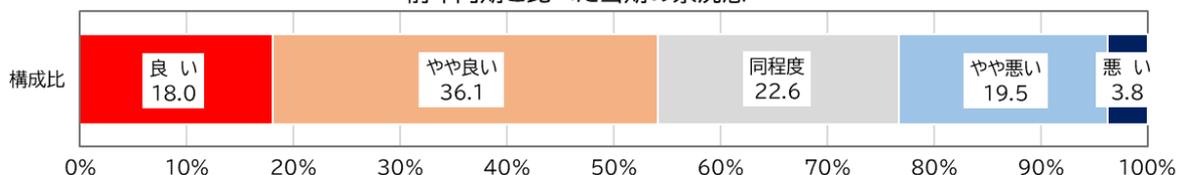
(4) 前年同期と比べた当期の景況感

- (全体) 前年同期との比較では+11.3とプラス。2022年3月からプラスが続く
- (業態) すべての業態でプラスとなり、宿泊は2ケタプラスとなった
- (地域) 4市がプラス、川根本町は横ばい、2市町がマイナス。

◆前年同期と比べた当期の景況感 (STI)

10~12月 (前年同期比)	業態別	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通		
		+ 9.9	+ 16.7	+ 8.8	+ 6.3	+ 8.3		
+ 11.3	地域別	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
		+ 13.3	+ 14.5	+ 22.5	▼ 5.0	+ 2.1	▼ 8.3	± 0.0

前年同期と比べた当期の景況感



2. 1~3月の景況感の見通し (当期比)

- (全体) 1~3月の景況感の見通しは、閑散期を見越して▼6.7とマイナス
- (業態) すべての業態でマイナスとなり、とくに土産・小売は▼15.6と2ケタマイナス
- (地域) 5市町でマイナスとなり、とくに川根本町は紅葉シーズンを終え、▼42.9と大幅に悪化する見通し

◆1~3月の景況感の見通し (STI)

1~3月 (当期比)	業態別	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通		
		▼ 1.1	▼ 8.3	▼ 8.8	▼ 15.6	▼ 6.3		
▼ 6.7	地域別	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
		▼ 4.8	+ 3.9	▼ 11.3	± 0.0	▼ 10.4	▼ 8.3	▼ 42.9

来期の景況感の見通し



(以上)